

心に残る文化財子ども塾 一出雲市斐川東中学校

1. 活動の概要

9月5日(金)、出雲市斐川東中学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに島根県埋蔵文化財調査センターの職員から、埴輪や斐川町の古墳について、遺跡から出土した形象埴輪や斐川町内の主要な古墳を中心に話をし、埴輪の製作体験を行いました。埴輪や古墳の話では、実際に遺跡から出土した遺物の見学をしました。校区周辺に多くの遺跡があることを学ぶほか、古墳出土遺物を手に取り、手触りや重さを体感していました。

埴輪の製作は粘土を捏ね、思い思いの形に成形していました。みんな一生懸命に取り組み、予定時間では足りないほどに熱中していました。

2. 活動の様子



説明を熱心に聞いています。



3クラスが各教室に分かれて埴輪づくりです。



埴輪づくりに熱中しています



古代に想いを馳せつつ取り組みました。

3. 子ども塾を終えて

1) 生徒の皆さんから…

- 次はもっと難しい動物型埴輪なども作ってみたい。
- 2.4mの埴輪(メスリ山古墳出土)が見てみたい。
- 斐川町の遺跡が南側に一直線を描くようにある理由が知りたい。
- 野見宿禰がどんな人だったのか、詳しく知りたくなった。
- 遺跡巡りとかもしてみたいと思いました。
- 1時間目から6時間目まで使ってもっと大きな埴輪が作りたい。
- 銅剣のレプリカづくりがしてみたい。

2) 担任の先生から…

- 埴輪や遺跡についても講話があり、生徒もより知識を深めることが出来たと思います。
- 講話は生徒が集中して聴ける内容・話し方であったが、クイズ等もあればよかったかもしれません。

3) 埋文センターから

- 小学校周辺の遺跡を紹介したことは、生徒の皆さんにとって遺跡を身近に感じてもらうのに役立ったのではないかと思います。また、埴輪や古墳に興味をもつきっかけになりよかったと思います。
- 埴輪製作体験ではそれぞれオリジナルの埴輪が完成するまで熱心に取り組んでおり、頑張りを感じました。